

月の保育 12月 (1)

【聖句】 喜ぶ人と共に喜び 泣く人と共に泣きなさい。

ば ん だ 組

【目標】・身の回りのことを自分でしようとし、できた事を喜ぶ

- ・寒さに負けず、戸外で身体を動かして元気に遊ぶ
- ・手洗い、うがいの習慣を身に付け、健康に過ごす

★どの子ども自分でできることが増え、排泄、着脱、食事等基本的な生活習慣が少しずつ身についてきています。幼児クラスへの移行も踏まえ、身の回りのことが自分でできるよう丁寧にかかわりつつ、「自分でできた」喜びを更なる意欲へ高めていけるようにしていきたいと思ひます。

★学園ガーデンを散歩したり、芝生広場などで遊ぶ経験を通し、秋から冬への自然の深まりを子どもたちも感じる事ができているようです。

これから冬に入り、乾燥したり外気温との差から風邪を引いたり、体調を崩しやすくなってきますので、暖房器具も上手に使用し、また室温、衣服の調節をこまめにしながら、体調管理に気を付けて過ごして行きたいと思ひます。寒さに負けず、戸外でも身体を動かして遊び、健康な身体作りに努めていきたいと思ひます。

★健康に対する習慣として、「戸外から戻った際のうがいと手洗い」が身に付くよう日々保育者と一緒に行いながら習慣付けるよう練習しています。ブクブクうがいから始めていき、少しずつがらうがいも覚えていけるようにしていきたいと思ひます。手洗い、うがいははじめ「健康を守る習慣」が、子どもたちに少しずつ身についていくよう援助していきたいと思ひます。

(井上)

年 少 組

【目標】・アドベント礼拝を守ることでクリスマスがどんな日か知り、楽しみに待つ。

- ・私たちが恵まれていることを知り、神様に感謝して過ごす。

★2学期も終わりに近づくとつれ、子ども達は自分でいろいろなことができるようになるとともに、話を聞いて自分なりに理解する力も身についてきたように思ひます。12月はアドベント礼拝、そしてクリスマス礼拝があります。初めて聞く言葉に、子ども達の気持ちも高まっていくことでしょう。ただパーティーをする、プレゼントをもらう、美味しいごちそうを食べるだけがクリスマスではなく、子ども達のことをいつも見守ってくださる、イエス様がお生まれになった日を、皆で心から祝う日が本当のクリスマスの意味。その日を今から楽しい気持ちで待てるように、アドベント礼拝ではロウソクに一本ずつ火を灯し、礼拝を守りたいと思ひます。

★美味しいご飯が食べられる、着るものがある、家族と笑顔で過ごすことができる。いつも私達が出来ていることは、世界中の人々が出来ることではありません。何気ない日常は、私達にとってとても大切なものです。幸せに過ごせていることを子ども達に伝え、クリスマス礼拝を通して「心から感謝をする」気持ちを持って、毎日を過ごしたいと思ひます。

(山口)

月の保育（2）

年 中 組

- 【目標】・クリスマスの意味を知り、楽しみに待つ
・寒い中でも体を動かす楽しさを知る

★2学期もあっという間に過ぎ12月になります。大きな行事を越え、子ども達は普段から「協力すること」を意識して過ごせるようになりました。

子ども達はクリスマスまでの日数を、指折り数えています。年中組になり、今年は年長組と一緒にクリスマス礼拝を守ります。年長組のお兄さん・お姉さんの姿を見て、自分達も来年には年長組になるんだ、という期待を持ってくれることかと思えます。優しい気持ちで礼拝が守れるよう、そしてクリスマスを楽しみに待てるよう、子ども達と一緒にクリスマスのお話を聞いたり、アドベントカレンダーをめくりながら、クリスマスを迎えたいと思えます。

★立冬を迎え、寒さも本格的になってきました。外に出るには寒い季節となりましたが、子ども達は園庭で鬼ごっこや花いちもんめ、縄跳び、鉄棒をして体を動かしています。これからも集団遊びなどを取り入れ、園庭や芝生で体を動かし元気に遊ぶことが出来るようにしていきたいと思えます。体調を崩しやすい季節です。園での手洗い・うがい、体温調節をしっかり行い、毎日元気いっぱい登園が出来るよう心掛けていきます。

(齊藤)

年 長 組

- 【目標】・本来のクリスマスの意味を知り、イエス様の誕生を祝う
・世界には恵まれない方々がたくさんいることを知り、恵まれない方々のために自分たちが出来ることを考える

★先月の後半には、作品展が行われました。「まごわさしい」をテーマに野菜や魚、お給食など様々な作品がたくさん飾られ、子ども園の中が「まごわやさしいテーマパーク」のように変わりました。子ども達やご家族の皆様、たくさんの方々から喜んでいただき私達もうれしく思います。作品展が終わった後も、年長組の子ども達は「まごわやさしいハウス」でお家ごっこやおままごとなどを楽しく遊んでいる姿が見られます。様々な行事を通して、「まごわやさしい」について子ども達も触れることが多くなり、ますます興味を持っているようです。

★来週の木曜日から、子ども園はアドベント週間に入ります。アドベント礼拝、クリスマス礼拝に向けて静かな心で礼拝を守るようにクリスマスのお話やページェントの話をクラスでも行います。本来のクリスマスの意味を知り、ご家庭の皆様も静かな気持ちでクリスマス礼拝を迎えて頂ければと思えます。

また、これからクリスマスに向け子ども達が献金箱の制作をし、献金をします。世界には、恵まれない子ども達がいる事、自分達はどれだけ恵まれているのかを子ども達と話を進めていき、自分達にはどんなことができるのか献金の意味について考えていきたいと思えます。

(小山)